

津軽鉄道旧芦野公園駅本屋

登録有形文化財に認定



▶太宰治の小説「津軽」の挿話の舞台としても知られている津軽鉄道旧芦野公園駅本屋、木造平屋建、鉄板葺、建築面積85㎡

「地域の協力を得ながら管理していきたい」と話す澤田社長 (右)

市内金木町芦野の津軽鉄道旧芦野公園駅本屋（つがるてつどうきゆうえんあしのこうえんえきほんや）が、平成26年12月19日、文化庁より登録有形文化財建造物として認定され、2月23日、津軽鉄道の澤田長二郎社長に登録証とプレートが伝達されました。

津軽鉄道旧芦野公園駅本屋は、昭和5年に建てられ、昭和50年まで津軽鉄道の駅舎として使用されました。

その後、外観の美しさや鉄道の記念的要素などもあり、保存され、津軽鉄道開業当時から現存する唯一の建築物です。

現在は、NPO法人かなぎ元気倶楽部が借り上げ、喫茶店「駅舎」として営業しており、軽食等を楽しむことができます。



平成26年度

市民提案型事業成果報告会

3月1日、立佞武多の館で、今年度の市民提案型事業成果報告会が開催され、事業を実施した団体が、市民提案型事業審査会（金目哲郎会長・弘前大学人文学部准教授）をはじめ、会場に集まった約50人の聴衆に向けて、1年間の活動の成果を報告しました。

市民提案型事業は、地域の課題解決や活性化に自主的に取り組む市民活動に対し、市が助成するも

ので、今年度は、はじめの一步事業1団体、市民提案型事業9団体計10団体が主体的に事業に取り組んでいます。

報告会の最後に金目会長が、「市民提案型事業は、五所川原市の伝統や文化を守り、まちをもっと元気にしたいという市民と行政の想いを結びつける仕組みなのだ」と改めて感じた。活動に取り組む皆さん自身が楽しみワクワクすることが、市民を元気に、そして

まちを元気にする上で最も重要なことであり、今回の皆さんの取組は期待以上の成果を得られたと確信するとともに、今後ともまちづくりの先導役として多くの市民を元気にしていただきたい」と総括しました。

市民提案型事業については企画課（内線2154）へお問い合わせください。



▶実演を行う浅井獅子舞倶楽部の皆さん

入居者随時受付中
有料老人ホーム **ふれんど**



ご利用料金
30日あたり **34,650円**~
●詳しくは、お問い合わせ下さい ●介護保険料の一割別途負担
ご利用のお問い合わせ・お申し込み
〒037-0612 青森県五所川原市福山字実吉70-4
TEL 0173-26-7673 FAX 0173-26-7674

お気軽にお電話ください!

ご家族・高齢者にやさしいリフォームをご提案!
バリアフリー、外壁・屋根のペンキ塗替え
見積り無料! ご相談だけでもお伺いします!



住宅リフォーム & 塗装のことなら
アルファサポート

連絡先 五所川原市中平井町 46 電話 0173-67-4269

◎広報有料広告

五所川原市を応援します!!